



本田宗一郎顕彰会

Honda Soichiro Society

会 報
第 5 号

平成21年3月

NPO法人 「本田宗一郎 夢未来想造倶楽部」の創設



本田宗一郎顕彰会会長
大橋 武司

本田宗一郎顕彰会では、地域の子どものためのミュージカル「本田宗一郎物語」とコンテンポラリーダンスの公演を共催してきました。平成十八年の生誕百年記念公演、平成十九年の生誕記念別府公演に引き続いて、平成二十年九月に川越市で生誕記念埼玉公演を実施しました。

会場には本田さち夫人をお迎えし、ホンダ学園関東校の学生諸君と先生方の熱いご支援を戴くなか、午前・午後の二回に亘って上演しました。両公演ともそれぞれ約千人のお客様が入場し、子どもたちは大勢の観客を前に熱演しました。客席からの拍手と指笛とスタンディングオベーションで会場は感激の坩堝となりました。天竜の子どもたちが埼玉の多くの方々に本田宗一郎さんの考え方、生き方を見事に演じて見せ、素晴らしい顕彰活動が出来ました。

また、懸案の本田宗一郎記念ものづくり伝承館（仮称）については、旧二俣町役場庁舎を改修して活用することが明確になり、平成二十一年度中に耐震化を図り、目的に沿った館となるよう改修を完了し、開館する運びとなります。そしてその運営については、地元で推進するように、との浜松市からの要請がありました。そこで地域の様々な方々に呼びかけて本田宗一郎記念館運営検討協議会を発足し、検討を続けるなかで特定非営利活動法人「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」（NPO法人）を設立することとし、その手続きを進めてまいりました。「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」の目的は、館を運営するなかで、世界に誇れる郷土の偉人本田宗一郎さんの輝きを一層増幅させること、市内の青少年の健全な育成を願うこと、さらにこの地域の活性化に資すること等であります。このことは現在私たちが行っている本田宗一郎顕彰会の目指している内容を全て含んでいます。そこで本顕彰会はNPO法人「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」に合流し、NPO会員の中心となって活動していくことが望ましいのではないかと考えています。



本田宗一郎生誕記念埼玉公演 ミュージカル「宗一郎物語」フィナーレ

NPOに託す宗一郎の夢と精神の継承

事務局長 鈴木益雄

永年の念願だった「本田宗一郎記念ものづくり伝承館（本田記念館）」が、旧二俣町庁舎を改修整備して、二十一年度いよいよ実現することとなった。

旧庁舎は、昭和十一年建築の木造二階建、外壁は漆喰モルタル仕上げ、一部スクラッチタイル張りのモダンなもので、昭和初期のモデル的な官衙建造物として、国の登録有形文化財に指定されている。

しかし、築七十年を経、劣化が顕著で、特に耐震に不安があるところから、建物外観はそのままに、抜本的な補強工事を実施。内部は改装して、本田さんの精神を表現する展示やワーク・ショップ、遺品のコーナーが設けられる。（本誌四頁「記念館の平面図」参照）子どもから大人までが、観、触れ、考え、遊び、遊ぶことのできる中身となっている。

管理運営はNPO法人で

この施設の管理運営について、浜松市は、民間に委託する方針で、法人格を有する地元の団体に任せたい意向である。

本田宗一郎の顕彰と併せて、本田記念館の建設に積

極的に係わってきた当会としては、是非共この運営に携わり、ものづくり精神の伝承に努めたい、この想いから、平成十九年九月浜松市からの協力要請を受け、大橋会長、鈴木事務局長が、天竜商工会天竜支部、天竜観光協会、天竜青年会議所、ポンポンCLUBなど、市内の関係団体代表者と共に、「本田宗一郎記念ものづくり伝承館」運営等検討会に参画してきた。

この検討協議の中で、施設の管理運営の受託団体は、特定非営利活動法人（NPO）が望ましいとの結論に達し、浜松市との協議のうえ、NPO法人設立にむけて検討を行ってきた。

NPO法人

「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」の設立

検討協議会は、月一回のペースで開催。施設整備について意見を述べ、NPOの設立について協議。二十年七月には新たなメンバーも加わり、検討協議会はNPO法人設立発起人会を兼ねる形で再発足した。

顕彰会からは村松、杉山副会長、梶村理事が選任された。関係団体等からもメンバーが加わり、NPO法

人の設立趣旨、目的及び事業、活動内容、定款の条項等を協議、市に対して、記念館の設備や展示内容等について意見を述べてきた。

十一月十三日、NPO法人設立発起人会を開催。定款（案）について調整、十一月二十七日を設立総会の日と定めた。

これを受けて顕彰会は二十一日理事会を開催。市並びに大橋会長から、今までの経緯について説明を受け、会の今後の在り方について協議した。理事から、「記念館の建設が会設立当初からの目的である。施設の運営に顕彰会の意見が反映継続されるのであれば、ほば会としての目的は達成したこととなる。この際解散して、新たな会に力を注いではどうか」との意見が出された。協議の結果、理事会として、二十一年度当初に解散総会を行い会員については、NPO会員に移行引き続き本田宗一郎顕彰にご尽力いただくよう依頼していく事となった。

平成二十年十一月二十七日設立総会を開催、大橋武司氏を理事長に選任、副理事長二名、理事九名、監事二名を選出、定款を認定、ここに「特定非営利活動法人本田宗一郎夢未来想造倶楽部」の誕生をみた。今後、市の法人設立認定等所定の手続きを経て、発足のはこびとなる。

想造倶楽部の「想造」は、若手委員の発案によるもの。



旧二俣町役場庁舎

本田さんのものを造り出す思想、想いを表現したいとの趣旨で、造語ではあるが、会のイメージにぴったりとの事で全会一致で採用された。

市民のみなさんや多くの同志がNPO会員として支援してくださいますようお願いいたします。この記念館が一日も早く完成し、本田スピリッツのモニュメントとして生き続けていくことを願ってやまない。

NPO 法人「本田宗一郎 夢未来想造倶楽部」の設立について

NPO 法人「本田宗一郎 夢未来想造倶楽部」は、市民・地域が主役となって本田宗一郎記念ものづくり伝承館の管理運営や浜松市名誉市民である本田宗一郎の業績や精神を伝える種々の事業を展開することにより、本田宗一郎の偉業を顕彰し、次の時代を担う青少年の人づくりを図り、また本田宗一郎生誕の地の地域活性化に寄与することを目的としている。

なお、NPO 法人「本田宗一郎 夢未来想造倶楽部」の事業は下記の内容を予定している。

事業内容

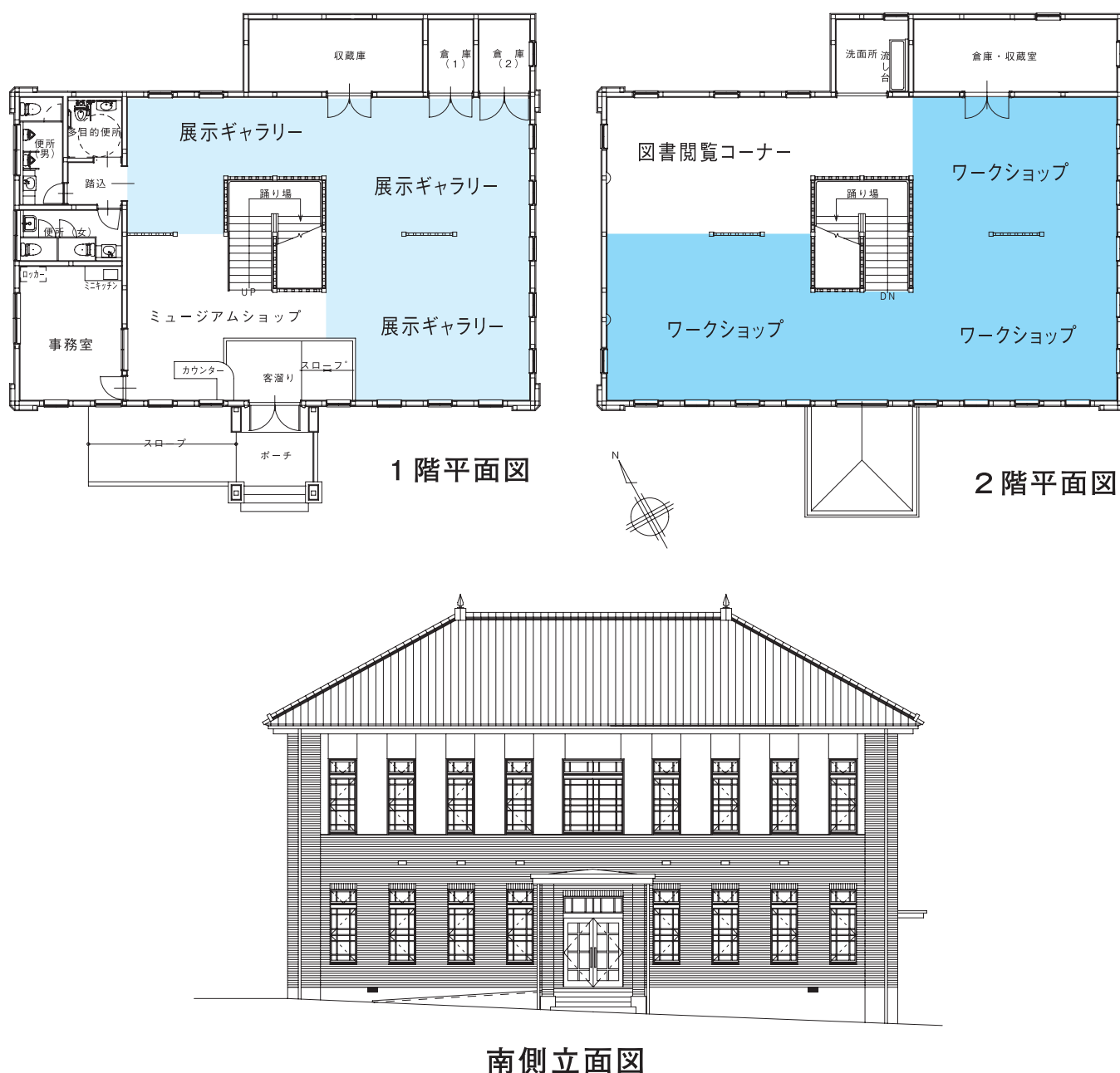
1. 本田宗一郎記念ものづくり伝承館の施設の管理運営事業
2. 展示公開事業
3. ワークショップ・セミナー等開催事業
4. 伝承館ガイド事業
5. ミュージアムショップ販売事業
6. ショップグッズ商品企画・製作事業
7. 本田宗一郎氏の遺品の保管管理受託事業
8. 各種情報の提供に関する広報啓発事業
9. 事業遂行のための調査研究事業
10. その他目的を達成するために必要な事業

本田宗一郎記念ものづくり伝承館（本田宗一郎記念館）の整備について

登録有形文化財である旧二俣町役場を本田宗一郎記念館の施設として活用するため、平成21年度中に、老朽化した部分の修理修復、現在の耐震基準に対応した耐震補強及び建築基準法に対応した階段の新設等の整備工事を行う。

本田宗一郎記念館は、本田宗一郎の「人となり」や「ものづくりの精神」を多角的に紹介するとともに、ワークショップなどをとおして、子どもたちがものづくりの楽しさを体験し創造する力を育む施設とする。

本田宗一郎記念ものづくり伝承館の平面図・立面図(案)



本田宗一郎生誕記念 埼玉公演

夢 挑戦 実現

ミュージカル「本田宗一郎物語」

埼玉公演を終えて

ホンダテクニカルカレッジ関東

校長 小 栗 篤

本田宗一郎顕彰会の会員の皆様、新しい年を迎えられ心新たな日々をお過ごしと存じ上げます。

昨年からの世界同時不況の影響で、世の中が沈滞の空気に包まれ始めています。百年に一度といわれる今回の経済停滞には様々な原因が語られています。私はその根本的な原因は、人間が楽をしてお金を儲けようとしたからではないかと思っています。一の価値しかないものを二十倍にも三十倍にも拡大させて世の中を動かすシステムに人々が飛びついてその挙句、膨らみすぎた風船が弾けるように経済が破たんしたのです。

本田宗一郎の著書に「私の手が語る」という本があります。宗一郎の手は、ごつごつしていて、節くれだっています。数えきれないけがをしてきた手です。それは、宗一郎が自分の手で夢をつかみ実現した手でもあるのです。

バイクや車の設計・生産には「(楽をして)」という考え方がありません。際限無い技術の探求の中で決して妥協せず、ひとつひとつを大切に積み上げ、幾度となく失敗を繰り返して製品は完成度を高めてい

きます。その過程で宗一郎の手は多くの痛みを感じてきたのです。

本当に尊敬される人間の成功は、莫大なあぶく銭を得た人ではなく、宗一郎のような人生の結果にあるのだと思います。

今回のミュージカルで、私たちは改めて夢を持ち、



小栗校長とミュージカルのスタッフ

それに真直ぐに進んで行くことの大切さを学びました。そして、この生き方こそがどのような状態の世の中であれ、人としての生き方として最も大事な事のひとつなのだと確信することができました。

本田宗一郎を伝承していく事は、だから大事なのだと心から思うのです。私たちの学園は、毎年のように多くの若者を迎えます。彼らに少しでも宗一郎の心を伝えていきたいと強く思っています。

最後になりましたが、本田宗一郎顕彰会の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

今年もともに「やらまいか！」でいきましょう。



ホンダテクニカルカレッジ関東校舎

本田宗一郎ミュージカルを観て聴いて

ホンダテクニカルカレッジ関東

自動車整備科二年 栄 耕 平

私は少年時代の本田宗一郎さんに、自分の興味のあることを見い出すと、後先考えず行動していた印象を受けました。村に來た車が垂らすオイルのにおいを嗅いだり、遠く離れたところである飛行機ショーに自転車で観覧に行ったりと、興味そのものが本田宗一郎さんを突き動かす原動力になっていたように感じました。本田宗一郎さんのように少年時代に描いていた大きな夢を大人になっても大切にしている人は決して少なくないと思います。純粹な気持ちでやりたいことにチャレンジし、一つの思い込みや常識にとらわれず、端から失敗など思ってもいい。そのような本田宗一郎さんの生き方に憧れをいだく人も多いと思います。この時代の変化の中で世界に先駆け、HONDAが目指すところへチャレンジし続けていくように、私も自分の思い描く将来を実現できるようなやりまいかしの精神をもって努力していこうと思いました。



ホンダ学園授業風景

次はアクト大ホールで

理事 野 尻 護

別府公演に続いての川越公演、しかも一日二回の舞台、さらに出発は夕方、昨年に比べ、かなりのハードスケジュールである。

公演前、三つの不安を感じて出掛けた。第一は子どもたちの体調、第二は観客の入り、第三は、配役が大幅に変更になり、ミュージカルのレベルは大丈夫か、であった。

しかし、打ち上げてみて、不安はまったくの杞憂に終わった。

多少、体調を崩した子どもさんはいたが、全員が元気でハードな公演を乗り切った。

二回の公演とも、ほぼ満席、大変な盛況であった。本田人氣を改めて実感。

演技も、回を重ねるごとに上達、最終公演は、スタンディングオベーションが出るほどの盛り上がり、私もつい立ち上がって拍手とともに、ジーンとくるものを感じた。

次回何としても、アクト大ホールでの公演をと、強く感じた埼玉公演であった。



コンテンポラリーダンス

夢を持ちつづけたい

下阿多古小学校六年 岡 みちる

今回、さいたま公演をさせていただきありがとうございました。チェイサーが終わって幕があがった時のたくさんの拍手とかん声を今でも覚えています。かん声を聞いた時、わたしはうれしくて泣きそうになりました。それは、今までやってきた厳しい練習のおかげで、本番で大成したからだと思います。わたしは、前回の九州公演では、出発前に病氣にかかってしまい治りきらなまま出演したので、すべての力を出し切ることはできませんでした。でも、今回のさいたま公演では、元気に出演できたので、すべての力を出し切ることができ、とても気持ちよかったです。

また、ホンダ学園を見学させていただき、ありがとうございます。ホンダ学園の人たちみんなが「本田さんのことが大好きです」「すごく憧れています」「いつか本田さんみたいな人になりたい」という気持ちがよく伝わってきて、わたしはとても感動しました。わたしは、そこまであこがれている人がいないので、そのような人がいるってすごいなあと思います。

わたしも本田宗一郎さんみたいに、夢を持ちつづけて、何事もあきらめないで生きていきたいです。そして、いつかその夢を実現させたいです。

さちさんこれからもお元気でお願いします。

練習と団結力にささえられて

光が丘中学校一年 平賀 建渡

今回、ぼくは四度目の『本田宗一郎物語』の埼玉公演があると聞き、出演しました。

オーディションがあり、ボロボロだったので、ひやひやしましたが、受かったので、ひとまず安心しました。

しかし、受かったというと、異常な緊張感が迫ってきました。

練習では、いろいろ変わる所もあるし、立ち位置なども覚えなくてはいけないので、大変だったし、中学生になったので、部活もありました。しかし、そういうことなどを、乗り越えて、出発のとききました。

こうして、埼玉に行けるのは、スタッフさん達のおかげ、そしてさち

さんのおかげなので、できる限りの力を使い果し、全て悔いのないようにつけていきたいと思いました。

一日目は、ちゃんと睡眠を取っておいきたいと思いました。

しかし、全く眠れず寝たのは、二時間半位でした。

二日目に、ホール



自動車との感動の出会い場面

に行き、通した時には、もう眠気はふっとんでいました。(がんばって、明日は成功させるぞ!)という気持ちでいっぱいでした。そして、本番当日には、あまり緊張感はありませんでした。

失敗する事は無く、成功しました。

しかし、チェイサーをしている時には、少しだけ寂しさを感じました。

この埼玉公演は、楽しくでき、そして、団結力という大切なものを教えてくれたと思いました。

先生方、スタッフのみなさん、そしてさちさん、本当にありがとうございました。

笑顔でできた貴重な体験

清竜中学校一年 酒井 藍

今回も、こんな貴重な体験ができたのも、さちさんのおかげです。本当にありがとうございました。

今回は、埼玉県の川越市民会館というところで行いました。

なれない初めてのところで、それとても大きいところでの公演でした。だから最初はすごくびっくりしました。

わたしの目標は、「笑顔」でした。レッスンのときから先生に「表情が暗い」と言われていたので、歌うときなどは、特に気をつけようと思っていました。でも、壬生ホールでは、通用する表情でも、今回会場になった川越市民会館はとても広いところだったので少し不安でした。本番では、精一ぱいの笑顔でできました。きん張してたけど、自分も、とて

も楽しかったからできた笑顔だと思います。一回目のときも、お客さんがたくさん見に来てくれて、うれしかったけど、2回目は、もつと見に来てくれて、すごい反応も返してくれたのでうれしかったです。こんなにも多くの人が、わたしたちの公演を見に来てくれるなんて、正直びっくりしました。また、こんな大勢の人の前での公演はあまりないことなので、うれしさも感じました。それと同時に本田さんは、本当に世界の本田なんだと改めて感じました。本当に今回は、みんなと協力できたし、自分の目標も、成しとげることができたので満足です。それに大勢の人がわたしたちを見に来てくれたことがうれしかったです。舞台を作りあげてくれた人々に感謝です。ありがとうございました。



ますますお元気で温かく子どもたちを見守るさちさん

やらまいか魂を胸に

浜松市立高校一年 大桑万友子

さち様を始め、全ての皆様に感謝の気持ちで一杯です。すてきな経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

今でも埼玉の公演のことを、よく思い返します。幕が上がるまでの緊張、ライトがとても気持ちよかったこと、最後のお客さんのあたたかい拍手とスタンディングオベーション——ミュージカルをやっていた約一時間、本当に夢中で、大きな幸せを感じながら、楽しく舞台にたっていました。

今回のこの経験のおかげで、私は天竜がさらに好きになり、本田さんの偉業をもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。私は本田さんと同じこの天竜という場所で生まれ、生活しています。将来この地をはなれるとしても本田さんのような「やらまいか魂」を胸に頑張っていきたいと思います。

今回のこの公演で本田さん、ホンダ学園の方々、その他大勢の方たちにとっても大きな力をいただきました。これから、自分は何でその感謝を返していけるか考えていきたいと思っています。

最後に、今までご指導下さった先生方、今までお世話になった全ての方々本当にありがとうございました。



大勢の観客でうめつくされた川越会場

「夢・・・ありがとう」

村井 教子

夢・挑戦・実現・・・その言葉が私の心に強く響きました。「世界の本田」と呼ばれる人が、どのような夢を描き、挑戦し、それを実現していったのか・・・私の好奇心はぐんぐん膨らみ「もっと知りたい！」そう思っていた時です。平成十八年、十一月の生誕百年記念に出席し初めてミュージカル「宗一郎（SOICHIRO）物語」を客席から観た時、出演者の中に、一般人の姿を見て、「へえーッ、参加できるんだ！」と、私の中に眠っていた秘かな夢の実現を、その舞台に想像していました。それが、実現できるとは夢にも思いませんでした。半分あきらめかけていた「夢」・・・あきらめることなく、勇気を出して、オーディションを受けた事：私の挑戦の第一歩でした。

私は、絵を三十年余り描き続けています。

そして、その間変わらぬテーマが、まさに、「夢」なのです。夢は時に、自由であったり、平和、希望、憧れ、愛であったりしますが、いつも絵の中に人の幸せを願う祈りのような想いで描いています。

人が何かを表現すること、物作りも共通したものがあのように思いました。

これからもずっと、いろんな夢を追い続け実現していきたいと思っています。

最後に、ミュージカルの公演にあたり、携わってくださった全ての皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

感動の埼玉公演

内山 富勝

早いもので、埼玉での公演から四ヶ月が過ぎました。宗一郎役を演じた私にとっては初めての大きなステージで不安だらけでしたが、先生方のご指導と仲間たちの励ましで、無事に終える事が出来ました。その中でも、最後に全員で発した「さあ、やらまいか！」その気迫と、お客様の声援と拍手に鳥肌が立ち、その感動が忘れられません。そして、今までの練習が報われたと感じる瞬間でもありました。

今回の公演でサポートしていただいた全ての皆様に感謝いたします。本当に、ありがとうございました。最後になりますが、本田さち様、素晴らしい機会をいただきました。どうか、いつまでもお元気でいてください。



少年時代と壮年時代の宗一郎

名パイロット

浜北から天竜へ、さしかかると「本田宗一郎生誕の地」という看板が見える。「本田宗一郎さんの生家とか記念館は、どちらにありますか」。と秋野不矩美術館が開館した当時からたずねられる。本田宗一郎さんの生まれ育ったところとしての証がなければいけないなあ」と美術館の館長だった今は亡き浅野保さんが云っていた。その後、浅野さんが本田宗一郎顕彰会の初代の会長になられ、本田記念館を青少年の教育に役立たせると熱望しておりましたが・・・突然ご逝去されました。

浅野さんとお別れの日、読経を聞きながら、本田さんの顔が浮かんできた。

「人生つてのは飛行機乗りだよ。離陸つてのは、これは華々しくて見送りに来てワーワー言つてやるものだ。けど、こいつあ誰でも舵とりや割合楽に上るんだ。それで途中は翼が揺れてね、危ない思いもして、皆必死に操縦するもんなんだよ、たけど着陸が失敗しちゃあ、これは元も子も無い、私は最後の着陸だけは、やっぱり良かったなあと言パイロットだなあと言われるようにしたいと、これだけは、思っているんだ」

人に迷惑をかけない、という父の教えを守り、若さ

の素晴らしさを讀え、人生を楽しんだと感謝して逝った本田さん、又教育に一生を捧げ本田記念館を、と熱望してやまなかつた前会長浅野保さん、御二人とも名パイロットだと思う。

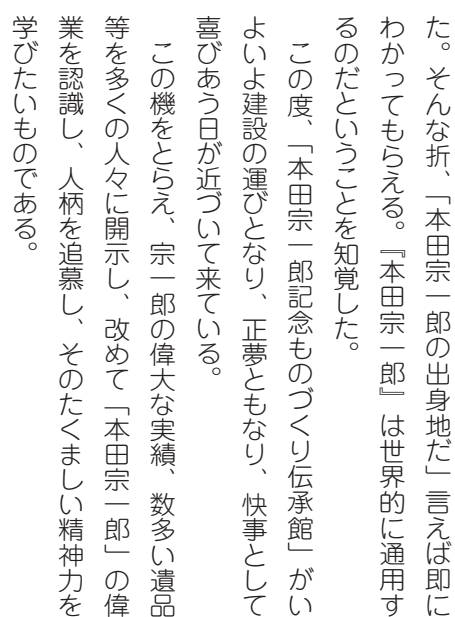
現在本田宗一郎さんの生き方、考え方が、時代へのひとつのヒントであり、本田さんの生きた八十四年の人生が今の不透明な時代に対する、ひとつの答えであると思います。

本田宗一郎顕彰会ともども夢未来想造倶楽部が地域ぐるみの活動へと益々発展することを願っています。

理事 草達男

私は富山県生まれで、帰郷した際などに、「天竜」を紹介するのに苦労したことを想起する。『天竜つて長野県だった?』とか『山形県?』などとのたまわれて、がつくりしたことが多々あった。この天竜は地理的な面や歴史的な見地からも、余り知られていないから無理なからんと自己判断……。

天竜を端的に理解してもらう方法はないかと苦慮し



9 本田宗一郎顕彰会会報

「こんな時代こそ夢が欲しい」

理事 縣 靖彦

二〇〇二年九月二十一日～十二月三日まで、江戸東京博物館（両国）で、より多くの人々に希望と勇気を与えられればと、TBSと朝日新聞が企画した「元気の出る展覧会」「本田宗一郎（ホンダ）と井深大（ソニー）夢と創造の原点」が開催されました。そして、二〇〇三年春、この企画を生誕地「天竜」で開催の話が私のところへ持ち込まれました。残念ながら実現しませんでした。が、「夢と創造の原点」の中で強く印象に残っている章がある。

当時、世界最高峰と云われたマン島オートバイレース出場宣言。折りしも会社が経営危機に陥っている中、「今、みんなが苦労している時だろ。こんな時代こそ夢がほしいじゃないか」本田さん挑戦の弁。今、世界はもとより、日本も百年に一度という経済危機に直面し日本全体に元気が無い。「こんな時代こそ夢が欲しいじゃないか」雲の上から本田宗一郎さんの声が聞こえてきそうな気がする。本田宗一郎、夢のふるさと、天竜の活動拠点として、記念館の管理運営を担う「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」がこの三月正式にNPO法人として発足。地域の人達が主役となって、本田宗一郎が遺したもののづくりの夢を大切な心として、地域全体で共有していければと思っております。

会員として望むこと

監事 小出る り子

本田宗一郎顕彰会会員となって、四年が経ちました。この間多くの方と出会い、多くの事を教えていただきました。

特に、会員として顕彰会の意義をしっかりと理解し、多くの青少年に伝えていくことが大切なことだということ強く感じました。

私も三十三年間、教師を続けてきました。及ばずながらその間、子どもたちには「夢・挑戦・実現」という考え方を、生き方を、体験を通して語り続けてきました。現在会員として、自分の教師生活において実践してきたことが間違いでなかったことをうれしく思っています。

今後も、会員として、本田さんの生き方や考え方を多くの青少年に伝えていくために努力していきたいと思っております。一日も早く、本田宗一郎記念ものづくり伝承館が完成することを望んでいます。



障がいを持つ人々が働くホンダ太陽で

NPO 法人「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」の会員を募集します。

平成 21 年度には、NPO 法人「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」の活動が始まります。是非、多くの皆さんに会員になっていただき、力を合わせて活動していきたいと願っています。

正 会 員	個人	1 口	2000 円	団体	1 口	5000 円
賛助会員	個人	1 口	2000 円	団体	1 口	5000 円

お申込は、電話・FAX・ハガキで下記へご連絡ください。

〒 431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣 501 天竜区役所別館内
NPO 法人「本田宗一郎夢未来想造倶楽部」発起人会
電話 053-925-6122

♪ やらまいか ♪

ミュージカル「本田宗一郎物語」テーマ曲

作詞 芹澤文子
作曲 山本裕治

夢があるならやらまいか
夢があるならやらまいか
どでかい夢ほど力が沸く
せつかく見つけた自分の夢
ほやほやしてたら目の前をあっというまに
通り過ぎる
しつかり腕出しビシッとつかむ
さあやらまいかさあやらまいか
夢があるならやらまいか
夢があるならやらまいか
苦労があるほど力が沸く
苦難、困難負けてたまるか
ちよつとやそつとじゃへこたれない
くよくよしてたらもったいない
せつかくつかんだ夢が逃げてく
さあやらまいかさあやらまいか

君たちはもう知っているだろう
何かを創る喜びを
君たちはもう知っているだろう
夢中になれる素晴らしさを
失敗なんて怖くない
昔からのガキ大将
やんちゃむちゃくちやへつちやらさ
石橋なんて叩かない 昔からのガキ大将
両手を上げて渡ってやるさ
きつと明日は君たちを待っている
きつと未来は君たちの中
きつと明日は君たちを待っている
きつと未来は君たちの中
さあやらまいかさあやらまいか
さあやらまいかさあやらまいか

夢 挑 戦 実 現

おわりに

本田顕彰会会報第五号の発行に際し、大ぜいの方々より寄稿していただき、誠にありがとうございました。

この五号の特徴は、一つは本田宗一郎生誕記念埼玉公演の様子。もう一つはNPO法人への、発展的移行についての、経過及び内容です。

公演は、天竜壬生会場に始まり、別府公演・今回の埼玉公演ですが、どの会場も満席で、熱い声援と割れんばかりの拍手でした。舞台の人たちは、活力と喜びに満ち溢れた演技で、終始楽しそうに表現され、人々を魅了しました。

子どもたちは、夢を持ち、実行することの大切さを、身をもって知った、すばらしい貴重な体験だったと思います。

なんととしても、浜松アクト公演を実現したいとの嬉しいお便りもたくさん届いています。

本田さちさんは、どの会場でも出演の子どもとの出会いを大切にされ、笑顔を絶やさずお元気にお話をされていました。よいご計画を与えて下さったので、みなさんから感謝の言葉がいっぱい届いています。本当にありがとうございます。

来年度からはNPO法人「本田宗一郎夢未来 想造倶楽部」での活動になりますので、倶楽部でお会いしましょう。

理事 鈴木 かづ子

本田さんの思い出



1984年フランス、サレーブ山（標高1300m）頂上より、
ハンググライダーでスイスのジュネーブ郊外まで飛んだ。
本田宗一郎、当時77歳



1988年 米国自動車殿堂入り



天竜市名誉市民 本田宗一郎さん・秋野不矩さんと
本多元天竜市長の鼎談・1988年ホテルニューオータニ

本田宗一郎顕彰会

編集 理事 鈴木かづ子 事務局長 理事 鈴木益雄

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣 501 番地

TEL・FAX：053-925-6122

501 Futamata Futamata-cho Tenryu-ku Hamamatsu City Shizuoka Pref. Japan

E-mail：tenryukokusaihonda@sunny.ocn.ne.jp